

2022年度 第1回研究会報告

2022年7月8日(金)に、2022年度第1回研究会をオンラインにて開催しました。当学会としましてはじめての平日開催でしたが、常時20名(最大25名)を超える入室がありました。

メインプログラムとなる講演では、2名の先生にご登壇いただきました。

山崎将幸先生(東亜大学教授)からは「個人競技アスリートに対するモチベーションビデオの有効性」についてお話いただきました。そこでは、モチベーションビデオ作成上のポイントのこと、いわゆる現場で活用するときのモチベーションビデオ視聴の時期(タイミング)のこと、モチベーションビデオを活用したときのアスリートの心理的な諸側面の変化のことなどについて、山崎先生ご自身が修士課程の学生だった頃かからいまに至るまで収集されたデータと実践を連動させる形でご紹介いただきました。

菅生貴之先生(大阪体育大学教授)からは「コーチングの場面で考えるカウンセリングマインド」についてお話いただきました。そこでは、スポーツメンタルトレーニング指導士や公認心理師の有資格者でもあり、大学で教鞭をとる菅生先生の実務経験や研究成果に基づきながら、コーチとカウンセラーの選手/クライアントに対する心理サポートの特性の違いについて、総論と具体例を往還する形で紹介されました。最後にはコーチが選手に接するときの、あるいは指導者が被指導者に接するときの留意点についてのご示唆がありました。

ご講演いただいたのち、25分程度の全体討論を経て閉会となりました。

今回の研究会でのご講演や全体討論を今後の学会活動に結びつけるという視点でとらえ直したとき、たとえば山崎先生の関連では、モチベーションビデオ作成に関するワークショップなども構想できるでしょうか。また菅生先生の関連では、学会員が持ついわゆる指導現場での事例を持ち寄り、それへの対応について協議するようなワークショップも構想できるのかもしれませんが、そして、それらが単に個人の指導現場における課題解決の一助になる(なった)という水準に留まるのではなく、作成されたモチベーションビデオの数々や心理サポートに関する協議の数々が何らかの形で蓄積され、界を支える/界を発展させる素材になっていくことが望ましいだろうと思います。

今回の研究会もオンライン開催となりましたが、皆さまのご協力により活気あるものになったと感じております。本当にありがとうございました。

今年度は秋口には第2回研究会を、年度末には学会大会を開催すべく構想を進めて参ります。お近くにいるバドミントン関係者、愛好家の皆さまをお誘いあわせの上、積極的にご参加いただけましたら嬉しく思います。皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日時：2022年7月8日(金) 18時30分～20時15分

開催方法：オンライン

参加者数：20名～25名(時間帯による)

文責：金子元彦(理事・企画委員長/東洋大学)